

# かすがい 市議会 だより



道風くん



第88号

2016年5月

(年5回発行予定)

もくじ

- ・特別会計当初予算案など…2
- ・一般議案など……………3
- ・代表質問……………4
- ・一般質問……………8

## エアフロントオアシス

エアフロントオアシスは、味美上ノ町の名古屋空港滑走路の南端にあります。離発着する航空機を間近に見ることができる公園です。

## 平成28年 第1回定例会 (2月19日～3月15日)

今定例会では、市長による平成28年度の市政方針説明の後、4会派により代表質問を行いました。

また、平成28年度当初予算案のほか、補正予算案2件、条例案32件、一般議案2件、人事案件4件が提出され、原案のとおり可決、同意、了承されました。請願1件を不採択としました。なお、3月10日には13人の議員が一般質問を行い、市の考えをたどりました。

平成28年度の当初予算の総額は前年度比129億244万3,000円増加(+6.8%)の、2,031億3,812万5,000円となり過去最大規模の予算となりました。

### 平成28年度 一般会計当初予算案

#### ◆一般会計予算

【原案可決：賛成多数】

一般会計は、JR春日井駅周辺整備、市営下原住宅の建替え整備、細木公園調整池等の浸水対策、小学校の普通教室空調機設置等の建設事業費の増加に加え、一般廃棄物最終処分場整備、障がい者等に係る介護給付や訓練等給付による扶助費の増加により、前年度比45億4,000万円増加し、1,001億円となり、初めて1,000億円を超える予算となりました。

【歳入】個人市民税は4億1,200万円増の191億200万円。法人市民税は2億7,700万円減の28億6,500万円。固定資産税は1億2,300万円増の20億4,990万円。国庫支出金は生活保護費の負担金や臨時福祉給付金給付事業や街路事業や区画整理事業の補助金等17億4,432万9,000円増の162億1,568万3,000円。繰入金は財政調整基金から10億円。市債は土庫債39億3,990万円、衛生債21億750万円、臨時財政対策債20億円を含め、合計95億6,010万円を計上しました。

また、ふるさと納税や春日井ブランド化推進事業寄附金による寄附金が好調で、前年度比5億1,766万円増の5億3,248万円を計上しました。

【歳出】人件費、扶助費及び公債費からなる義務的経費の人件費は微減、扶助費は障がい者福祉費や生活保護費、児童措置費等が増加

し、14億1,729万4,000円増の481億2,334万7,000円。道路・橋りょう、公園、学校、公営住宅の建設等、社会資本の整備に要する経費からなる投資的経費は建設事業費の増加で16億1,627万9,000円増の139億7,460万7,000円。物件費、維持補修費、補助費等、繰出金、積立金、投資及び出資金、貸付金及び予備費からなるその他の経費は、学校等の公共施設の維持補修費、積立金や市民病院への繰出金の増加で15億642万7,000円増の380億204万6,000円です。

○総務費 防災拠点等無料公衆無線LAN整備、JR春日井駅公共掲示板による情報発信、坂下出張所整備、次期総合計画策定、地域ブランド活性化、防犯カメラ設置補助、防災対策事業等。

○民生費 障がい者総合福祉計画改定、地域生活支援事業、福祉応援券等。

○衛生費 各種健康診査、予防接種、一般廃棄物最終処分場整備、クリーンセンター整備等。

○農林水産業費 新型市民農園整備、かすがい農業塾、有害鳥獣駆除対策、農業振興地域整備計画改定等。

○商工費 工場等の新增設・移転等に関する支援、創業支援等。

○土木費 浸水対策、道路整備、橋りょう整備、立地適正化計画策定、土地区画整理事業、街づくり支援制度等。

○消防費 消防車両整備、消防団活動推進、救急救命士養成等。

○教育費 特別支援教育支援員増加、小学校普通教室空調機設置、放課後なかよし教室、土曜チャレンジ・アップ教室、スクール・セーフティ・サポーター等。

## 平成28年度 特別会計当初予算案(8件)

特別会計は、今年度より公共下水道事業会計が企業会計となるため全8会計となり、総額607億5,882万2,000円となりました。社会保障事業の状況は、国民健康保険事業が1億5,182万4,000円増の360億6,730万9,000円、後期高齢者医療事業が2億8,241万3,000円増の42億519万9,000円、介護保険事業が11億4,412万9,000円増の190億6,349万8,000円となり、それぞれ増加しました。

### ◆公共用地先行取得事業特別会計予算

【原案可決：全会一致】

### ◆国民健康保険事業特別会計予算【原案可決：賛成多数】

### ◆後期高齢者医療事業特別会計予算

【原案可決：賛成多数】

### ◆介護保険事業特別会計予算【原案可決：賛成多数】

### ◆介護サービス事業特別会計予算【原案可決：全会一致】

### ◆民家防音事業特別会計予算【原案可決：全会一致】

### ◆潮見坂平和公園事業特別会計予算

【原案可決：全会一致】

### ◆松河戸土地区画整理事業特別会計予算

【原案可決：全会一致】

## 平成28年度 企業会計当初予算案(3件)

企業会計は、市民病院事業、水道事業、公共下水道事業の3会計で、総額422億7,930万3,000円です。今年度から公共下水道事業が企業会計となります。

### ◆市民病院事業会計予算【原案可決：全会一致】

総額182億1,670万2,000円で、前年度に比べ9億8,701万2,000円(5.7%)増加です。

### ◆水道事業会計予算【原案可決：全会一致】

総額93億4,445万9,000円で、前年度に比べ11億235万1,000円(10.6%)減少です。

### ◆公共下水道事業会計予算【原案可決：全会一致】

総額147億1,814万2,000円です。今年度より地方公営企業法適用となります。

## 平成27年度 補正予算案(2件)

### ◆一般会計補正予算【原案可決：賛成多数】

歳入歳出予算に18億6,602万1,000円を増額し、総額をそれぞれ996億3,029万4,000円とするものです。

【歳入】増額分は主に国庫支出金5億7,935万3,000円、県支出金1億5,048万9,000円、財産収入3億7,826万1,000円、寄附金3億3,047万2,000円、繰越金11億1,819万7,000円、減額分は繰入金6億9,158万8,000円です。

【歳出】小学校普通教室空調機設置工事費4億7,000万円、まちづくり寄附基金積立金3億3,000万円、国民健康保険事業特別会計繰入金3億1,387万円、ふるさと納税推進9,530万円、私立保育園施設整備等補助2,287万5,000円、高蔵寺ニュータウン創生事業2,750万円などを増額するものです。

### ◆国民健康保険事業特別会計補正予算

【原案可決：全会一致】

3億1,387万円の保険基盤安定繰入金の増額と国民健康保険税を減額し、財源を更正するものです。

## 条例案(32件)

### ◆附属機関設置条例の一部を改正する条例

【原案可決：全会一致】

### ◆行政不服審査条例

【原案可決：全会一致】

### ◆行政手続条例及び職員退職手当支給条例の一部を改正する条例

【原案可決：全会一致】

### ◆情報公開条例の一部を改正する条例

【原案可決：全会一致】

### ◆個人情報保護条例の一部を改正する条例

【原案可決：全会一致】

### ◆情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例

【原案可決：全会一致】

### ◆固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例

【原案可決：全会一致】

### ◆職員定数条例の一部を改正する条例

【原案可決：全会一致】

### ◆職員の退職管理に関する条例

【原案可決：全会一致】

### ◆人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例

【原案可決：全会一致】

### ◆職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

【原案可決：全会一致】

### ◆職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

【原案可決：全会一致】

### ◆特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

【原案可決：全会一致】

### ◆議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

【原案可決：賛成多数】

### ◆一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例

【原案可決：全会一致】

### ◆議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例

【原案可決：全会一致】

### ◆自転車等駐車場条例の一部を改正する条例

【原案可決：全会一致】

### ◆特別会計設置に関する条例の一部を改正する条例

【原案可決：全会一致】

### ◆市税条例の一部を改正する条例【原案可決：全会一致】

◆消防団条例の一部を改正する条例

【原案可決：全会一致】

◆消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

【原案可決：全会一致】

◆火災予防条例の一部を改正する条例

【原案可決：全会一致】

◆消費生活センターの組織及び運営等に関する条例

【原案可決：全会一致】

◆農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員定数条例

【原案可決：賛成多数】

◆私立幼稚園就園奨励費の補助に関する条例の一部を改正する条例

【原案可決：全会一致】

◆介護サービスセンター条例の一部を改正する条例

【原案可決：全会一致】

◆医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

【原案可決：全会一致】

◆手数料条例の一部を改正する条例

【原案可決：全会一致】

◆建築審査会条例の一部を改正する条例

【原案可決：全会一致】

◆道路条例の一部を改正する条例

【原案可決：全会一致】

◆市営住宅条例の一部を改正する条例

【原案可決：全会一致】

◆水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

【原案可決：全会一致】

## 一般議案(2件)

◆市道路線の廃止(53件)

【原案可決：全会一致】

◆市道路線の認定(153件)

【原案可決：全会一致】

## 請願審議(1件)

1件の請願が提出され、委員会に付託し審査しました。その後、本会議で委員長審査の結果報告があり、採決の結果は次のとおりです。

◆リニア中央新幹線工事に関する請願書 **【不採択】**

## 人事案件(4件)

中村幹雄副市長の辞任に伴い、副市長に加藤達也氏、任期満了に伴い、固定資産評価委員会委員に山田保氏の選任に同意しました。また、任期満了に伴い、人権擁護委員に小木曾美奈子氏、小川信子氏の推薦を了承しました。

## 選挙

選挙管理委員会委員に小野誠氏、小山俊夫氏、堀内満寿美氏、星秀樹氏、同補充員に西尾孝治氏、佐藤裕子氏、伊藤滋氏、宮田宗友氏が指名推選により当選されました。

## 委員会開催状況

◆文教経済委員会(2月2日)

報告事項

- 1 第3次春日井市子ども読書活動推進計画(案)について
- 2 新型市民農園基本計画(骨子案)について
- 3 春日井市教育大綱(案)について

◆厚生委員会(2月3日)

報告事項

- 1 介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)について
- 2 ごみボックスの購入補助について

◆建設委員会(2月4日)

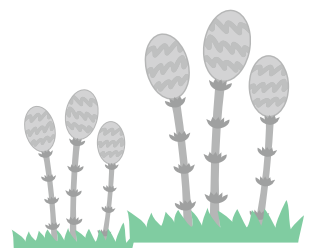
報告事項

- 1 春日井市における立地適正化計画の作成について
- 2 全県域汚水適正処理構想(春日井市編)の見直し(案)について

◆総務委員会(2月5日)

報告事項

- 1 春日井市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について
- 2 春日井市空き家等対策計画(案)について
- 3 春日井市公共施設等のあり方に関する基本方針(案)について
- 4 高蔵寺リ・ニュータウン計画(案)について
- 5 藤山台小学校(旧藤山台東小学校)施設整備基本設計について





# 市政方針に対する代表質問

代表質問については、質問者から提出された原稿で掲載しています。

自由クラブ

質問者 友松 孝雄

## 市政運営の基本的な考え方について

### ▶ 質問

少子高齢化が進行する中で、本市が将来にわたり発展を続けるためには、子育て世帯を増やすことが重要であると考えます。「暮らしやすさの質」を磨き上げる中で、特に「子育て環境の充実」に重点を置く、本年の市政運営の基本的な考え方について問う。

担当 企画政策課

【答弁】 子育て環境の充実は、人口減少などの課題に対応するだけでなく、若い世代が「暮らしやすさ」を実感する上で不可欠です。「子育ては春日井」を1つのブランドとして捉え、子どもとその親の世代の「暮らしやすさ」を追求し、未来を担う子どもたちのたくさんの笑顔があふれるまちを目指し、すべての市民の皆様の暮らしやすさにつなげていきます。



## 小学校における英語教育の推進について

### ▶ 質問

文部科学省は、平成30年度から小学3年生以上の英語教育を必修化し、平成32年度からは、小学5・6年生を対象に成績の評価を実施することとしている。こうした中、本市が本年から教員をマレーシアに派遣するに至った理由と小学校における英語教育を今後どのように推進していくのか問う。

担当 学校教育課

【答弁】 小学校教員の英語指導力向上のためには、指導的教員の養成が急務であり、そのためには海外研修により、24時間英語に浸ることが最も効果的かつ効率的であると考えており、また、マレーシアへの派遣は、第2言語として英語教育を推進していることから、より効果的な英語指導方法を習得できると考えています。今後は、派遣教員を中心に指導方法の研究や全小学校教員に対する英語指導研修を推進します。



## 多目的総合運動広場の整備について

### ▶ 質問

県営朝宮公園を候補地として検討するとのこと、市民の競技力向上や健康増進、屋外スポーツ活動の場を広げるためにも早期実現への期待が高まりつつある。公園全体を有効に活用し、子どもから高齢者まで全ての市民が利用しやすい整備が必要だと考えるが、公園の移管や施設の整備から維持管理に至るまで、今後どのような考え方のもとで進めるのか問う。

担当 企画政策課

【答弁】 愛知県から市への県営朝宮公園全体の移管について提案をいただいたため、本年4月に市民委員会を設置し、多目的総合運動広場の規模や機能、朝宮公園での設置の可能性などを議論していただき、皆様の意見を反映した朝宮公園整備構想を策定していきます。また、整備費用だけでなく、運営費用についても費用対効果を検証し、民間活力の導入も含め、公園の魅力向上と財政支出の軽減を両立できる方策を検討していきます。



## JR春日井駅の整備について

### ▶ 質問

本年秋の供用開始に向けて、橋上駅舎と自由通路の整備が進行中であり、これを契機に南北の駅前広場を始めとする駅周辺についても、賑わいの創出と民間活力の誘導を図りながら、利便性に優れた整備の推進を期待するところである。観光案内所の開設や大型モニターの設置なども考えているとのことだがJR春日井駅と駅前周辺整備についての今後の見通しについて問う。

担当 都市政策課

【答弁】 JR春日井駅は、本年10月末から11月初めの供用開始が期待され、供用開始後には、安全で使い勝手のよい駅前広場の整備や、北口への交番誘致も進めます。また、観光案内所や大型モニターを設置することで、おもてなしの場の創出や、魅力ある市の情報を発信します。駅前周辺では、市街地再開発事業等にむけ、現在、協議会が立ち上げられた駅南東地区への支援や、北口周辺についても民間活力の誘導に向け取り組んでいきます。



### その他の 質問事項

- 地域包括ケアシステムの構築について
- 企業誘致と市内企業の支援について
- 次期総合計画の策定について
- 市民病院における医療の充実について
- 浸水対策について
- 平成28年度の予算編成について 他



市政方針とは、市長が市政運営に対する基本的な考え方や主要な施策について述べるものです。内容は春日井市のインターネット公式サイトで御覧いただけます。

公明党

質問者 石原 めいこ

「子育ては春日井」の取組と発信について

▶ 質問

「子育ては春日井」を発信していくために、妊娠から出産、子育てまで切れ目無く支援するネウボラ（アドバイスする場所）への取り組みや、妊娠・出産包括支援事業（子育て世代包括支援センター）の取り組みをはじめ、春日井市独自の取り組みにより、子育て支援を行っていく必要があると考えるが「子育ては春日井」を磨き上げる施策の考え方について問う。

担当 子ども政策課

【答弁】本市では、子育て家庭の不安や負担感の軽減を図るため、子どもの年齢や家庭の状況に応じた様々なニーズに対してきめ細かく支援を行っています。平成28年度からは、子育て家庭訪問支援や子育て支援コミュニティカフェを開始するとともに、子育て応援ガイドブックをこんにちは赤ちゃん訪問等で配布するなど、あらゆる機会を活用して支援情報の周知を徹底し、子育てが家庭が安心していきいきと子育てができるように取り組んでいきます。



区・町内会・自治会の活性化について

▶ 質問

本市には、現在563団体の区・町内会・自治会があるが、団体の加入率は65%を切っており、地域活動の存続が困難となっている。また、各区においては高齢化とともに次代を担う人材の育成も課題となっている。区・町内会・自治会の活性化について、本市の考え方を問う。また、地域格差をなくすためにも地域担当職員制度について、本市の考え方を問う。

担当 市民活動推進課

【答弁】加入率向上のために、転入された方に加入促進チラシの配布、加入啓発ポスターの掲示などを行っています。更に、「多世代交流モデル事業」への補助を行い、その事例を「地域づくり推進大会」や「町内会活動事例集」を通して情報提供しています。また、「地域をささえる人づくり講座」を開催し、地域リーダーの育成を支援しています。なお、地域担当職員制度につきましては、調査・研究しているところです。



男女共同参画社会の推進について

▶ 質問

男女共同参画社会の実現には、男女が互いに人権を尊重し、個性と能力を最大限に発揮できることが望ましいと考える。男女共にワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭生活や地域活動の調和）が大切である。社会全体、庁内全体で取り組んでいく必要がある。昨年女性活躍推進法が制定されたところであるが、男女共同参画社会の推進について、本市の考え方を問う。

担当 男女共同参画課

【答弁】男女共同参画社会に向け、市民の意識づくりのための啓発や講演会の開催などの施策を積極的に展開しています。本年は、平成29年度の男女共同参画プラン改定に向け、市民意識の実態などを把握する市民意識調査を実施します。なお、女性の職業生活における活躍が期待される中、育児などを理由に就業できない女性も多く、希望に応じた働き方が実現できるよう、保育所の拡大など子育て支援事業の充実に努めています。



「書のまち春日井」の発信について

▶ 質問

書聖小野道風公の誕生伝説地と言われている松河戸地区の道風記念館、そして小野小学校では、昭和11年から県下児童生徒席上揮毫大会が以後毎年開催され昨年は、80周年を迎えたところである。児童・生徒の書道教育に熱心に取り組んでおり敬意を表するところである。また道風記念館における所蔵品についても価値が高い。更なる発信について問う。

担当 文化課（現：文化・生涯学習課）

【答弁】「書のまち春日井」の発信については、道風展の開催や道風記念館での展覧会等により行っています。また、子どもの頃から書に親しむため小学校で書道科を実施しています。平成28年度は、国民文化祭が愛知県で開催されることから、書の企画展などによる参加事業を実施する他、J R春日井駅自由通路に設ける展示コーナーに作品展示を行います。また、書に関連する自治体との連携事業などに取り組んでいきます。



その他の質問事項

- 子どもの読書活動の推進について
- 商店街の活性化について
- 地域防犯力の向上について
- 文化振興について
- 地震対策の推進について
- 市営住宅の整備について 他



## 子育て環境の一層の充実について

## ▶ 質問

子育て世代の、行政に対してのサポートニーズが高いのは、大きく分けると幼児期と小学校低学年と認識する。幼児期は産休・育休明けの保育園待機児童、小学校低学年は夏休みなどの長期休業時の子どもの家定員である。このようなニーズがある中で、仕事と子育てが両立できる環境の整備をどのように対処する考えか問う。

担当 保育課・子ども政策課

【答弁】 増大する0歳から2歳児までの保育需要に対し、平成28年度は、公立保育士の増員及び4か所での小規模保育事業の開設により定員増を図り、年度途中では、職員の配置転換や臨時保育士の確保により対応していきます。また、放課後児童クラブについては、夏休みにおいて、神領



小学校の特別教室の活用により、校区及び周辺校区の受入れを計画していきます。今後も引き続き保育需要に的確に対応し、子育てしやすい環境の充実を図っていきます。

## 教育の基本理念について

## ▶ 質問

学校では、低学年の少人数学級をはじめ、各種相談事業、学校評議員制度、放課後なかよし教室、学校かけはし事業などの様々な分野で、地域・家庭・行政との協働により子どもたちの成長を見守り、「みんなで育て」ている。市政方針の「みんなが輝く」と言う次の一手についての具体的な考えを問う。

担当 教育総務課

【答弁】 子どもは様々な人々の関与により均衡のとれた人格を形成するもので、多くの方々が子どもたちの豊かな人間性を育てています。しかし一方では、規範意識が低下し、自己本位の考えで行動する人や、地域活動に無関心な人たちが増大しています。子どもの範となるべき大人も、積極的に社会への関わりを持ち、常に行動することが必要であり、その成長が子どもの健やかな成長を促進し、大人自身もはつらつとした社会生活を営むことができると考えています。



## 地域包括ケアシステムの構築について

## ▶ 質問

介護分野は、行政と地域包括支援センター、高齢者等を円滑に結び、また、高齢者への生活支援サービスを充実させる事が重要と考える。介護サービスとニーズをコーディネートする「生活支援コーディネーター」の配置、家庭介護では家族等の介護者のサポートが重要と考える。地域包括ケアシステムの構築をどのように考えているか問う。

担当 介護保険課（現：地域福祉課）

【答弁】 地域包括ケアシステムの構築には、医療や介護をはじめ、介護予防や生活支援などの多様なサービスが、事業者や地域住民の連携により切れ目なく提供されることが重要と考えます。その一環として、高齢者の生活支援サービスの提供、生活支援コーディネーターの配置を計画しているところです。様々な担い手が連携し、サービスを展開することで、高齢者の生活を地域全体で支える仕組みを構築していきたいと考えています。



## 高蔵寺ニュータウンのまちづくりの推進について

## ▶ 質問

これまでワークショップや各地域での説明会などが行われ、地域住民と行政が共に協力し、今年3月に「高蔵寺リ・ニュータウン計画」が策定される予定。先行する「旧小学校施設の整備」には地域の関心も高くなっている。このリ・ニュータウン計画について市長が核とする理念と、計画を推進する中で民間活力をどのように活用するのか問う。

担当 ニュータウン創生課

【答弁】 高蔵寺ニュータウンは、高齢化などの課題がある一方で、インフラも整備され、良好な住環境や景観、活発な地域活動などがあります。計画では、既存の良さを活かしつつ、新たな要素を取り入れた更新を行い「若い世代への居住の魅力と現在の住民への安らぎを、将来に渡り提供し続けられること」を核に施策を実施します。これからのまちづくりでは、民間活力の導入は不可欠であり、公民が連携して計画を推進していきます。



## その他の質問事項

- 産業の振興について
- 交通安全の推進について
- 道路の整備について
- 土地区画整理事業推進について
- 公共施設等マネジメント計画の策定について
- 財政運営について 他

日本共産党春日井市議会議員団

質問者 伊藤 建治

平和行政について

▶ 質問

本市は昨年、核兵器の廃絶、非核3原則の堅持、恒久平和と戦争のない社会の実現を願い平和都市宣言を行った。核兵器のない世界の実現は国際的な流れ。しかし北朝鮮は、核実験や事実上の弾道ミサイルの発射を行った。国連安保理決議などに違反する暴挙であり厳しく非難し抗議する。地方からも平和を希求する声を上げ平和都市宣言をの実のあるものにするべき。

担当 総務課

【答弁】北朝鮮による2月7日のミサイル発射実験は、国連安全保障理事会の決議違反と考えられ、国際社会から非難が集中しており、大変遺憾に思っています。本市では、原爆ポスター展や平和展、平和祈念式典等を開催し、平和行政に取り組んできました。昨年9月29日には、平和への



誓いを新たに、核兵器や戦争のない社会を願い、平和都市宣言をしており、引き続き様々な機会をとらえて平和事業の推進に取り組んでいきます。

小規模保育事業について

▶ 質問

待機児童解消のため、保育サービスの提供量を増やすことは必須。しかし、健やかな子どもの成長と、安全が保障されたものでなければなりません。小規模保育事業は、無資格のスタッフのみでも設置が可能で、子どもの安全、良好な保育環境の確保という点で危うさを含むもの。春日井市における小規模保育事業はどのようなもので、何園の開所が予定されているのか。

担当 保育課

【答弁】年々増加する保育需要に対応するため、公立保育園の正規保育士の確保とともに、本年4月から、市内4か所で小規模保育事業を実施することとしました。その事業者は、いずれも保育の実績があり、また、市においても定期的な巡回・指導等を実施することとしており、保育の質は確保できるものと考えています。



学校教育について

▶ 質問

子どもの貧困が社会問題になっている。6人に1人の子どもが貧困状態にあり、学習環境や日常生活に深刻な影響を及ぼしている。しかしその多くがSOSのシグナルを発することができず、問題がなかなか表面化しない。本市も子どもの貧困に対して真摯に向き合う必要性を感じる。相談しやすい環境づくりや、就学援助の拡充、学習支援に全市的に取り組むべき。

担当 学校教育課・生活援護課（現：生活支援課）

【答弁】小中学校では、懇談会等で寄り添った相談を行い、就学援助は、受給者数が増加していますが、現行制度の維持に努めます。学習支援は、分かりやすい授業づくりや夏季の補習に取り組んでいます。また、高蔵寺ニュータウンを拠点



とした、大学生ボランティアによる学習教室に加え、本年4月から勝川駅前において開設予定の、NPO団体による学習支援事業に対して、生活困窮世帯等への情報提供及び参加を促すなどの協力をしていきます。

財政運営について

▶ 質問

電力販売が自由化され、自治体も新電力への乗り換えにより経費削減をすることが増えている。公共施設は電力消費の時間帯が固定されており、新電力への切り替えでの経費削減効果が高い。愛知県庁本庁舎や名古屋市役所本庁舎などが新電力を含めた競争入札を導入。豊田市役所本庁舎は1,500万円以上も安い新電力が落札。本市においても電力の購入方法を検討すべき。

担当 総務課

【答弁】電気事業法の改定により、本年4月からは電気契約が全面自由化となります。これまで、地域の大手電力会社に独占されていたものが、電気料金やサービスを検討のうえ、新電力会社と契約できるようになりました。本市では、現在中部電力と契約していますが、電気の安定的な供給を市全体で低価格かつ継続的に確保するとともに、災害時にも、迅速に確実な供給を得られるよう長期契約も視野に検討をしているところです。



その他の質問事項

- 経済の好循環について
- 高齢者の日常生活支援について
- 福祉応援券について
- 多目的総合運動広場の整備について
- 新型市民農園の整備について
- 高蔵寺ニュータウンのまちづくりの推進について 他

# 一般質問

## 市政全般にわたる問題について質問します

今回の定例会では、13人の議員が市の考え方や方針など、市政全般にわたり、27項目の一般質問を行いました。一般質問は、市当局に対し施策・事業などの現状や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をたずため行うものです。各議員の質問と当局の答弁を、要旨で掲載しています。

(一般質問については、質問者から提出された原稿で掲載しています。)



道風くん

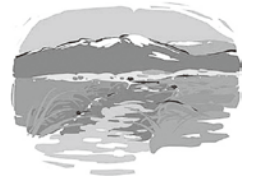
### 1 当市南西部における水害対策について

質問者 長谷 和哉

**質問** 度重なる水害被害に対し、国（庄内川）・県（地蔵川）・市（雨水幹線、南部ポンプ場、雨水調整池）と各所管で対処しているが、縦割りでない総合的な浸水対策の市民への周知が必要と思うが、どう取組んでいくのか。また、昨年の関東・東北豪雨の反省から、県市を超えた広域水害に情報共有や対策が必要と思うが、どのような取組みを考慮しているかを問う。

担当 河川排水課・市民安全課

**【答弁】**事業の周知につきましては、国、県、市が事業ごとに柔軟に対応しています。また、本市のホームページにおいて、総合治水対策などの説明、調整池整備などの実績報告、国や県の治水事業関連のページへのリンクなど、事業についての周知に努めています。さらに、関係機関で情報の共有を図ることが重要であると考えており、担当者による勉強会を始め、より密接な連携強化に努めています。



### 2 高蔵寺ニュータウン50周年記念事業について

質問者 あさの 登

**質問** 再来年（2018年）は高蔵寺ニュータウンの入居から50周年に当たる。この年は春日井市制75周年でもある。これを記念して本市が主体となる「高蔵寺ニュータウン50周年記念事業」について本市の考えを問う。又、記念事業としてニュータウン中心のサンマルシェ西大交差点を改築してニュータウンの中心にふさわしい交差点に再生させることを提案する。

担当 ニュータウン創生課

**【答弁】**高蔵寺ニュータウン50周年記念事業については、平成30年が市制75周年にあたることから、市制75周年記念事業の中で、住民の皆様が主体となり実施していただくことを考えています。市が主体となり50周年記念事業を実施することは考えていませんが、これまでの周年事業と同様、市民団体等が中心となり、高蔵寺ニュータウンの魅力を発信するような50周年にふさわしい事業の実施について、市として協力・支援していきます。

# 50

その他の質問事項

- 高蔵寺リ・ニュータウン計画について

### 3 障害者差別解消法の施行に係る本市の取組みについて

質問者 末永 けい

**質問** 今まで以上に障がいのある方に寄り添った対応が求められる。①市の取組み、委託等の条件に合理的配慮の提供について盛り込む考え②小中学校の取組み、学校との折り合いがつかない場合はどうしたらよいか③国が示す差別解消支援地域協議会設置の手引きでは、事業者や法曹等を想定している中で、自立支援協議会のメンバーを拡充する考え、其々所見を問う。

担当 障がい福祉課・学校教育課

**【答弁】**①職員対応要領を作成し、職員のほか、指定管理者等も含めて周知するとともに、手話通訳者の設置時間を全業務時間常駐に拡充します。指定管理者へは、モニタリングを通じて、必要に応じて指導・助言を行います。②教育委員会の専門的な知識や経験の豊富な職員が、保護者と学校との考えを整理し調整するほか、関係機関の助言や支援の機会を提供します。③協議内容に応じ、オブザーバーとして参画して頂くことが可能となっています。



その他の質問事項

- 男性特有の悩みの理解促進と相談窓口の設置について
- 高蔵寺リ・ニュータウン計画推進に係る周辺自治体との連携について
- 女性の職業生活における活躍を推進する施策について



## 4 公園砂場の安全管理について

質問者 伊藤 あんな

**質問** ①公園の砂場が汚れているとママ達は感じている。特に犬や猫の糞害により衛生的不安の声があるが砂の入替等対策はとられているか。②幼児期の子どもは砂場で遊ぶことにより五感を鍛え脳の発達に大きく影響すると言われている。より多くの子どもたちに安心して遊んでもらう為に砂場柵を設置する考えはないか問う。

その他の質問事項  
 ・運動会における組体操について

担当 公園緑地課

**【答弁】**①公園砂場の犬や猫の糞害については、必要に応じて清掃や砂の補充、入替え等を行っています。なお、砂場の消毒については、薬剤の影響が懸念されることなどから行っていません。②砂場柵については、他の遊具等との離隔が十分確保でき、遊具利用者の衝突事故等の恐れはないか、あるいは他の公園利用者に影響を及ぼさないか、などを十分確認しながら検討してまいります。



## 5 庁舎リニューアルについて

質問者 小原 はじめ

**質問** ①待合スペースの拡大、キッズスペースと授乳室が一体となったスペースの確保について②子ども政策課や保育課など、課ごとの表示から子育てのことなど市民が分かりやすいよう目的別に色分けした表示への変更について③子育てや障がい者福祉など住民が関連する複数の手続きを1か所の窓口で集中して行うことができる総合窓口の設置についてそれぞれ問う。

担当 総務課

**【答弁】**①キッズスペースの設置については、現状スペースの中で、設置場所や規模等も含めて検討してまいります。②サイン表示の変更については、庁舎内のすべてのサインの色や形式を統一して表示していることから、現在は考えていません。③総合窓口の導入については、業務内容が複雑多岐に渡り、それぞれに専門的な知識を持った職員の対応が必要であることから、現行の体制が望ましいと考えています。



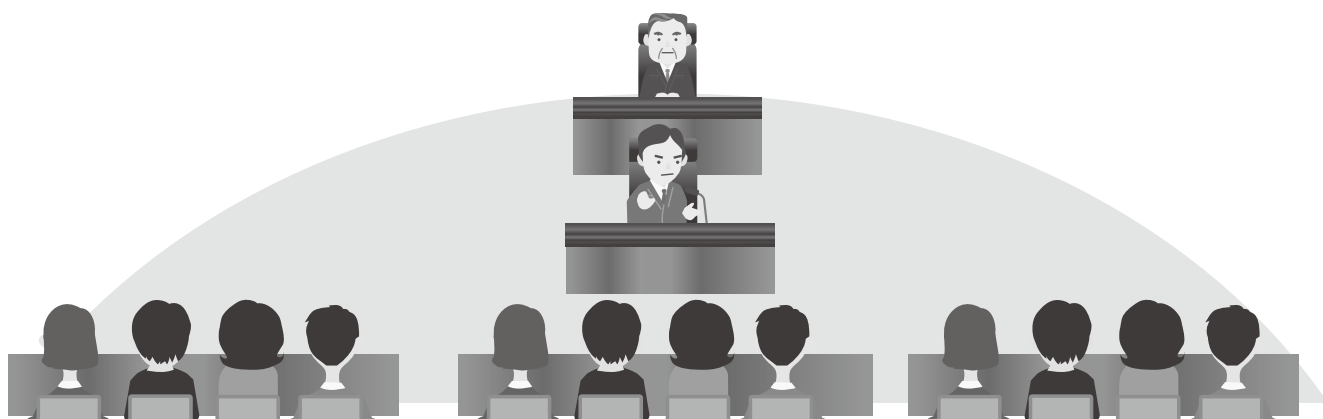
## 6 ひとり親家庭支援の充実について

質問者 田口 よしこ

**質問** 親の就労の有無や住んでいる地域の違いにかかわらず、全ての子どもに良質な発達環境を社会全体で支援するために①ひとり親家庭の相談窓口の周知、伝達、開庁していない時間帯の対応等現状について②子どもの生活・居場所づくりについて③日常生活支援事業の拡充について④親を対象に、専門家を活用した家計管理の講習会の実施等学習支援について問う。

担当 子ども政策課

**【答弁】**①児童扶養手当受給者を対象に、8月に支援の冊子を配布するとともに日曜日に相談日を設定し、時間外の相談はEメールを活用しています。今後も、効果的な情報提供の方法について検討してまいります。②大学生、NPO、民間児童クラブによる支援が実施されており、地域の状況を把握し参加を促してまいります。③国の見直しに合わせて利用条件を緩和し、ホームページ等で周知してまいります。④県が開催する講習会等に関する周知を行い、参加を促してまいります。



## 7 地域包括ケアの推進

質問者 いしとび 厚治

**質問** 地域包括ケアの観点から、世界有数の長寿国となったわが国。めざす方向は単に寿命を延ばすことでない。健康に加え、安心して働き続け、生涯現役として生きがいあふれた生活を営む活動寿命を延ばすことと、生活の質を高めることです。本市が行っている健康のための、かすがい健康マイレージの状況と、ICTを通じた生きがい意識の向上について伺う。

担当 健康増進課・高齢福祉課（現：地域福祉課）  
【答弁】マイレージの達成状況は、2月末現在1,380人に「まいか」カードを交付しました。内訳は、小学生が1,250人、残り130人の約半数が60代以上で、このうち約3割の方がポイント達成後もチャレンジに取り組んでおり、習慣化に繋がるものと期待しています。ICT（情報通信技術）については、利用の有無に関わらず、高齢者が地域において可能な範囲で生きがいを持って社会に参画し、お互いに支えあうことができる地域包括ケアを目指します。



## 8 LED照明の普及について

質問者 佐々木 圭祐

**質問** LED照明の普及について、東日本大震災による福島第一原発の事故を受け、我が国ではエネルギー政策の大きな転換が課題となりました。そこで本庁舎でのLED照明の試算について、また、コスト削減の導入効果に加え、二次的なメリットもあるLED照明を公共施設への導入について、さらにLED照明を普及する上で、市営住宅への導入について伺う。

担当 総務課・住宅施設課  
【答弁】本庁舎の事務空間をLED照明とした場合、消費電力を蛍光灯の40%として試算すると、電気料金削減額は一年約350万円になります。本庁舎へのLED照明の導入については莫大な費用が必要になるため、順次交換できるところから取り組んでいき、規模によってはリース契約も視野に入れ、費用対効果を検証する中で検討していきます。また、建替中の下原住宅ではLED照明を採用しており、既存市営住宅については今後検討していきます。



その他の質問事項  
•市営住宅の整備について

## 9 保育行政について

質問者 伊藤 建治

**質問** 本市の保育行政は、公立保育園を堅持し私立保育園にも同じ質の保育ができる支援をしており、高く評価する。しかし公立保育園では250人の正規保育士に対し、一日7.5時間の常勤の臨時保育士が230人。臨時保育士は賞与も退職金もなく時給1,280円のみ。フルに働いても年収230万円。労働時間も責任も同じなのに正規と臨時の待遇はあまりに違う。改善を求める。

担当 保育課・人事課  
【答弁】保育士の配置については、過重な負担にならないよう、十分な配慮をしていくとともに、園長等を通じて意見の吸い上げを継続して行っています。また、常勤の臨時保育士の賃金は、正規職員に近い勤務時間であることを考慮し、一定の配慮をしています。



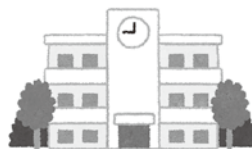
その他の質問事項  
•義務教育後の就学支援について  
•臨時職員（非常勤職員）の雇用条件について  
•固定資産税について  
•インフルエンザ警報発令時の対応について

## 10 学校設備の改修について

質問者 原田 祐治

**質問** 学校の設備の老朽化などで困っているという声を聞く。①修繕の要望にはどのように対処し、年間何件くらい出されているのかを問う②和式トイレに不慣れな子どもが増えているので、運動場脇などの外トイレの洋式化を求める③電気機器の使用が増えたため、ブレーカーが落ちることが度々あると聞く。ブレーカーが落ちにくくする対策を求める。

担当 教育総務課  
【答弁】①各学校からの修繕要望については、緊急性のあるものから順次修繕を行っています。平成27年度の修繕要望の件数は（2月末現在）、小・中学校合わせて1,679件です。②現在、特別支援学級のトイレの洋式化を進めています。校内のトイレの洋式化が約5割である事から、先ず、子どもたちが日々使用するトイレから、洋式化率の向上を図りたいと考えます。③電気機器の使用使用方法により、配電盤内の電気容量のバランスを図り、適切な電気機器の使用方法を学校に示します。



## 11 公共施設等総合管理計画のあり方について

質問者 村上 しんじろう

**質問** ①公共施設等のあり方に関する基本方針が示された。本計画と、現在既に動いている計画、これから新たに策定する計画・構想・戦略との整合性をどう取って行くのかを問う。②本計画は各所管部署で管理する公共施設等を専門部署にて組織横断的に一元管理するものとしている。専門部署の配置や規模等はどのように考えているのかを問う。

担当 企画政策課

**【答弁】**①既に施設計画を有する施設については、マネジメント計画に掲げる方針や取り組みと個別計画との整合を図り、必要に応じて見直しを行ってまいります。新たに策定する立地適正化計画や中期財政計画との関連性については、



計画に示されるまちづくりの考え方や財政収支の推計を踏まえた施設評価の導入など、それぞれの計画の視点を反映したものにしていきます。②専門部署については、計画を策定する中で、専門部署の配置等について検討を進めていきます。

## 12 F35の整備拠点と騒音について

質問者 宮地 ゆたか

**質問** 三菱重工業小牧南工場にF35戦闘機の整備拠点を設置する計画とすでに組立が行われているが、防衛省、愛知県等から市へ説明がありましたか。F35の爆音は他の戦闘機より激しいと聞く。一日一機飛んだ時の騒音はどうか。F35の諸情報を収集し、県に対し問題が起きてから後追いにならないよう爆音等々の対策を強く働きかけていくことについて問う。

担当 環境政策課

**【答弁】**F35の整備拠点については、愛知県から防衛省発表資料がFAXで届いたのみで、他から説明は受けておらず、組み立てについても三菱重工業等から説明は受けていません。仮に現在の騒音最大レベルより10デシベル大きい航空機が一日一機増えた場合、時間帯補正等価騒音レベル(Lden)は6デシベル上昇し70デシベルとなります。今後も情報収集に努め、引き続き県や小牧基地等の関係機関に騒音対策の充実を働きかけていきます。



- その他の質問事項
- 生活保護担当職員の増員について
  - 免許証返還促進のための補助について
  - 産後ケア入院への補助について

## 13 高森台巨大物流倉庫について

質問者 内田 謙

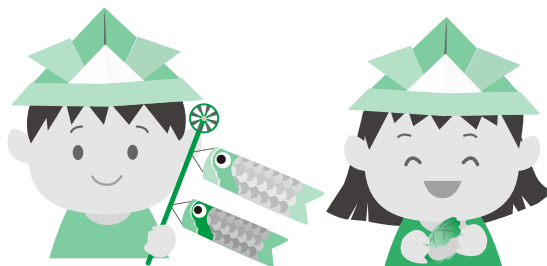
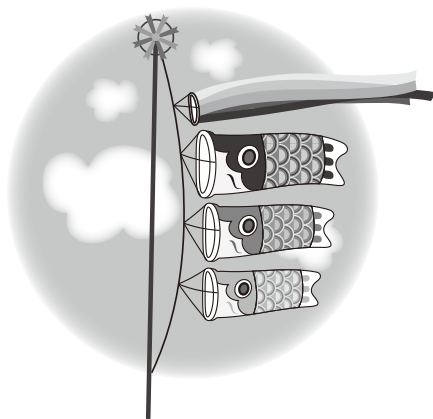
**質問** このまま推移すれば、高森台の誘致施設地区には、計3棟、総延べ床面積が14万㎡にもなる巨大物流倉庫群が現われる。この地区は、ニュータウン計画の構想段階から住環境との調和のある施設というのが大前提だった。現在進んでいる事態は、これに全く合致しない動きという外ない。この点について、市当局の認識を問う。

担当 建築指導課

**【答弁】**高森台の誘致施設地区の物流倉庫については、地区計画や各種法令に基づいて整備される施設であり、周辺の住環境にも配慮したものであると考えます。様々な意見があることは承知していますが、行政としては各種法令等に基づいて判断していくことになります。



- その他の質問事項
- 県営名古屋空港の利用促進について





## 傍聴のお知らせ

市議会の本会議や委員会は傍聴することができます。  
 平成27年では、本会議には延べ250人、委員会には延べ39人の方に傍聴にお越しいただいております。  
 皆さんもぜひ、議会の傍聴にお越しく下さい。  
 また、本会議の開会中は市役所1階市民ホールに設置したテレビで、本会議の様子をご覧になることもできます。



### 【本会議を傍聴される方】

本会議は通常午前10時に開会します。傍聴を希望される方は市役所5階の議場傍聴席入口にお越しく下さい。定員は88人で、うち車いす席は6席です。

### 【委員会を傍聴される方】

常任委員会は通常午前9時に開会します。当日の午前8時30分から午前8時45分までに市役所3階議会事務局にお越しく下さい。定員は5人で定員を超えた場合は抽選により決定します。

問い合わせ 議事課 (☎85-6492)



## 市議会のホームページ

インターネットで次のような情報をご覧いただくことができます。



- 市議会議員名簿    ○提出議案・請願一覧    ○一般質問事項一覧
- 市議会だより    ○市議会の予定    ○本会議・常任委員会の議事録
- 傍聴について など

【アドレス】 <http://www.city.kasugai.lg.jp/shigikai/>  
 春日井市のホームページからアクセスしてください。

### 山田哲也議員ご逝去

市議会議員山田哲也氏(54)が、  
 去る2月6日ご逝去されました。  
 ここに哀悼の意を捧げ、謹んで  
 ご冥福をお祈りいたします。



## 編集後記

本年我が国では、新たに18歳・19歳の若い有権者を加えた選挙制度のもとで、最初の国政選挙となる第24回参議院議員通常選挙が実施されます。また8月にはブラジルでオリンピックが開催され、11月には新たなアメリカ大統領が選出されるなど、スポーツでも政治でも我が国を含め世界各地で、熱い熱い闘いが繰り広げられます。いずれにおいても、未来に希望を与えられる結果でありますことを、期待してやみません。

我々、平成27年度の議会報編集委員会は、今号の発行をもって任期を終了致します。市議会だよりをご愛読下さいました市民の皆様、心から感謝致しますとともに、引続いてのご愛読をお願いします。

編集委員一同

## 今後の議会開催予定

第2回臨時会 5月18日(水)～5月20日(金)

第3回定例会 6月17日(金)～7月5日(火)

※議事の都合により、日程が変更になる場合があります。

問い合わせ 議事課 (☎85-6492)